

2020年度 特定演習

教 員 名	國 方 明
演 習 テ ー マ	<p>金融にかかわる方法論の修得</p> <p>本演習では、受講者が金融にかかわる経済活動を分析して、修士論文または研究調査(以下「修士論文等」という。)を執筆できるようになるために、2つの方法論の一方または両方を教える。第1の方法論は経済理論、第2の方法論は実証分析の手法である。</p> <p>具体的な演習内容を、受講者の研究テーマに沿って決める予定である。</p>
演 習 内 容 ・ 方 法 等	<p>まず、受講者の研究テーマを確認する。そして、その研究テーマを、次の2つの観点から評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 修士論文等にふさわしい、学術的貢献または社会的貢献(あるいはこれら両方)を達成できそうなテーマか否か。 ● スケジュール通りに修士論文等を執筆できる確率の高いテーマか否か。 <p>もし、研究テーマが上の2点を両方満たしたら、次に(ア)と(イ)の一方または両方を行う。</p> <p>(ア) 修士論文等のテーマに近い先行研究を読む。そして、先行研究を要約したり、先行研究の限界を把握したりする。先行研究の限界をしっかりと把握する結果、受講者が研究を遂行するうえでの着眼点を見つけやすくなるだろう。なお、(ア)は、経済理論を使った修士論文等と実証分析の手法を使った修士論文等の両方について行う。</p> <p>(イ) 実証分析の手法を使った修士論文等について、データの入手および加工について指導する。</p> <p>一方、もし、研究テーマが上の2点のいずれかを満たさなければ、協議のうえテーマを再設定する。</p>